



みやこのじょう

市議会 だより No.13

新 城

幸せ上々、みやこのじょう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

もっと知りたい、
自分の街のこと。

- 平成 29 年 5 月 15 日発行
- 編集／広報広聴委員会
- 発行／都城市議会



山之ロスマート IC 開通式

平成29年3月定例議会

平成 28 年度ふるさと納税寄付額	………	P2
一般質問	………	P4
常任委員会報告	………	P8
議案議決状況	………	P10



みやこんじょう大使 ぼんちくん

平成28年度ふるさと納税寄付額 (H28.4月～12月までの寄付)



寄付額 60億4,140万円 当初予算における活用額 48億円
ふるさと納税を活用した主な事業(予定)

※残額12億円は今後の補正予算で活用予定

子ども支援

17億3千万円

- ◆ 小学校学力向上対策事業
- ◆ 小中一貫学力向上研究指定事業
- ◆ 中学校教員業務支援事業
- ◆ 中学生海外交流事業
- ◆ A・L・Tによる語学指導授業
- ◆ 小学校図書館サポーター配置事業
- ◆ 乳幼児医療費助成事業
- ◆ 母子健康情報サービス事業
- ◆ 小規模保育所推進事業
- ◆ 放課後児童クラブ設置推進事業
- ◆ 放課後児童クラブ空調設置事業
- ◆ 保育所・幼稚園等むし歯予防事業
- ◆ ファミリーサポートセンター事業
- ◆ 都城島津伝承館特別開催事業

まちづくり支援

2億2千万円

- ◆ 中心市街地再生プラン事業
- ◆ まちなか活性化プラン事業

環境支援

4億8千万円

- ◆ 再造林推進事業
- ◆ 母智丘公園桜再生事業

長寿支援

2億5千万円

- ◆ 胃がんリスク健診
- ◆ こけないからだづくり講座

スポーツ・文化振興支援

1億6千万円

- ◆ 都城運動公園整備事業
- ◆ 合宿誘致推進事業
- ◆ モンゴル市民交流団派遣事業

災害対策支援

2億9千万円

- ◆ 後方支援拠点都市推進事業

人口減少対策支援

3億3千万円

- ◆ 移住・定住インターンシップ等推進事業
- ◆ 移住・定住人材確保コーディネーター事業
- ◆ 転職応援補助金

市長におまかせ

13億3千万円

- ◆ 肉用牛担い手農家支援事業
- ◆ 農業後継者等支援事業
- ◆ アグリチャレンジ「トラサポ」事業
- ◆ 竹笹サイレージ普及促進事業
- ◆ 地場産物「ふるさと給食」提供事業
- ◆ 投票率向上対策事業
- ◆ ミートツーリズム推進事業
- ◆ 「肉と焼酎のふるさと・都城」推進事業
- ◆ みやこんじょPR推進事業
- ◆ 観光イベント開催費
- ◆ 子育て・市民公益団体活動支援事業
- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック「ホストタウン」推進事業

議会報告会

＝ 皆様との意見交換会 ＝

日程	会場	時間
8月17日(木)	小松原地区公民館	午後7時から 午後8時30分
8月18日(金)	庄内地区公民館	
8月21日(月)	中郷地区公民館	
8月22日(火)	山田総合センター	

いずれの会場へも参加できます。
都合の良い会場へ参加して下さい。

内容等

- 1 市議会の役割・仕事・議会の流れ
- 2 常任委員会・特別委員会の役割
- 3 定例議会の報告
- 4 意見交換会…「皆様からの御意見等」を承ります。

昨年度は、このほかに都城わかもの会議との意見交換会も実施いたしました。市民の皆様からのご要望に応じて意見交換会も実施いたします。

■ **主 催**：都城市議会

■ **お問合せ**：都城市議会事務局 Tel 23-7869



副議長 中田 悟

このたび、副議長の職を拝命いたしました中田 悟でございます。

時代の変化と共に、各自自治体においては地域間競争が激しくなっているなか、本市においては、ふるさと納税制度の実績が全国1位となつて脚光を浴びており、今後もさまざまな特色ある政策の立案と実績を残して行かなければならないと思ひます。

市民の皆様にとりまして、住みよい希望に満ちたまちづくりを実現するため、市議会が議決機関としてチェック機能をしっかり果たし、政策提言をしていくことが市民の皆様の付託にこたえられると思ひているところであります。

つきましては、議長を補佐するという重要な務めを果たしつつ、市民の皆様が開かれたクリーンで魅力ある議会運営に努め、副議長としての責務を担ってまいりますと思ひております。



民主党 児玉 優一

公民館加入強化について

問 市として加入促進宣言をする等の積極的な取り組みは考えていないのか。

答 昨年度城市自治公民館加入に関する検討委員会での新たな施策を提言していただきました。今後はこの施策を基に公民館加入促進の後押しが出来るような取組みを検討していきます。

無電柱化の推進に関する法律への対応について

問 この法律への対応をどうのように考えているか。

答 現状においては国・県・市ともに具体的な無電柱化計画はまだありません。今後は国の動向を注視していくとともに、広報・啓発活動については関係機関と協議しながら進めていく予定です。

新燃岳義援金の有効活用について

問 まだ義援金が残っている理由と今後の活用予定はどうか。

答 いただいた義援金の一部は見舞金等に使わせていただき、残りを基金として運用しております。今後は新燃岳の火山活動の推移を見極めたうえで基金条例に基づき備品整備費等で有効活用させていただく予定です。



いずみの会 小玉 忠宏

「会計管理者」の職務、適正な管理監督について

問 税金や国・県からの交付金、補助金の適正な管理と運用益の確保に努めている。不適正事案防止には「要領」と報告義務を定め、管理責任を明確にしている。

都城を輝かす各種事業の取り組みについて

問 『弓・木刀づくり日本一』を教育に活かし郷土を担う誇りと郷土愛を育て、企業にも元気を提供できる武道教育を。

答 剣道4校、弓道1校が取り組んでいる。種目選択は各校長に一任。

問 ①図書館サポーター、②学力向上対策、③中学校教員支援、④海外派遣事業。

答 ①応募者が多く任期等も規程に則って。②小学3・4年生を対象に算数科の習得。③教員の教育専念が目的。④20名に増、熱意や協調性等を勘案し選考。

陸上競技場「山之口町」の建設計画について

問 県の計画動向を踏まえ検討する。

問 ふるさと納税の今後の取り組みについて。

答 政局の動向等を注視、事業の新たな展開も検討している。



黎明 竹之下一美

市長の平成29年度の取り組みについて

問 予算に対する市長の思いについて。

答 本市が持っている三つの宝「農林畜産業」「地の利」「次世代を担う子どもたち」を輝かすためこれまで以上に本気で挑戦してまいります。

農林畜産業の振興策は、再造林について。

問 再造林推進事業で1ha当たり8・5万円助成し平成29年度は115ha、967・5万円計上し対応してまいります。

6次産業化の取り組みは、これまでの実績は。

答 主な商品はメンチカツ、コロツケ、生ハム、乾燥野菜、ジャム等多種多様な新商品が開発されています。

第11回全国和牛能力共進会について

問 全共に向けての出品対策について。

答 新プロジェクト体制のもと候補牛の選定、手入れ作業等を行い三連覇の一翼を担える様取り組む。

志和池地区公民館・市民センター建設について

問 整備計画について。

答 平成29～32年度に実施します。事業費は5・7億円です。平成33年4月供用開始を予定しています。



自民党 西川 洋史

インバウンド対策、台湾へのトップセールスの概要について

問 市内の観光関係者と一体となって台湾の観光関係機関を訪問し、都城の魅力をPRするとともに貴重な意見交換をした。

今後の対策について。

答 新年度予算提案してのミートツーリズム事業を含め、今後のインバウンド対策に反映します。

中核施設整備支援事業、賑わい創出について。

答 現図書館の入館者数は年間、約17万人、新図書館の入館者数は一・五倍以上が予測される。

その他の公共施設の活用について。

答 全天候型の多目的広場は、まちなかに新たな賑わいを創出する拠点施設と位置づけております。

子育て世代活動支援センターと健康センターを設置することで、中心市街地に子育て世代を呼び込む効果が期待されます。

新たなソフト事業、ソフト事業について。

問 中心市街地再生プラン事業を構築、リノベションまちづくりの推進や商店街の景観・雰囲気を変えることで賑わいを創出する大胆な事業です。



日本共産党 森 りえ

マイナンバー制度、住民税特別徴収の通知書送付の際のマイナンバーを記載して事業所に送るのか。

答 平成29年度の税額通知書へのマイナンバー記載については、今後の国からの通知や他市町村の状況に注意を払いながら、税額通知書を作成する4月下旬までに決定したい。

間違いが起きないように、マイナンバーを記入せずに住民税特別徴収の通知書を送付すること、「ふるさと納税ワンストップ特例制度」における申告特例通知書の誤送付」のその後の対応として、個人情報保護委員会への報告を速やかにこなすこと。

就学援助の支給時期の見直しについて

問 就学援助の説明と申請の時期は？

答 在校生は11月に、小学校の新入生は、入学後の4月に年度内の案内を行っている。新小学校1年生は、例年、入学の家庭訪問が終わった5月上旬までを受付期間としている。

就学援助が実態に合った援助になるよう、きょうだいで申請書の数の見直し、申請時期、支給時期の見直すこと。



自民党 杉村 義秀

平成29年度予算編成と特色ある新規事業、現事業の進捗状況、財政状況について。

答 3つの宝を輝かせる施策に取り組み804億円の予算で、アグリ、トラサポの支援、肉と焼酎の活用、コンビニ交付事業他72件の新規で、進捗は六次化、志布志道路等の大幅予算で順調であり、経常比率も86・5%に改善。市債残高も224億円減少し、1人66万9千円で健全化を保っている。

教育の振興、教育勅語、論語教育の導入、今後の課題、五箇条の御誓文。広く会議を興し、万機公論に決すべし。仁川思いやりの心。子曰く、性相近し、習い相遠しについて。

答 教育勅語は昭和23年6月、国で排除する決議がされ、戦後は教育基本法が制定され、現在の教育となっている。論語教育は、既に小学6年生、中学3年生で国語の教材として導入されている。今後の課題は、教育を取り巻く環境は厳しく、複雑かつ多様であるが、学校運営協議会等が地域とともにある学校づくりを目指す。

一般質問



都城志民の会
広瀬 功三

人口減少防止対策

問 今後、どのような人口減少対策に取り組むか。

答 「子ども・子育て支援」「健康増進」「移住・定住の推進」の3つを重点的に取り組んでいく。

問 市民参加、地域の役割は。

答 既に色々な形で参加頂いている。平成29年度から、全地区に拡大する地域活性化事業により、地域住民が人口減少のリスクを改めて認識頂くことを期待している。

地域活動活性化

問 まちづくり協議会の役割は。

答 地域内分権の受け皿、自主的な地域づくりの中心的な役割を持つ。

問 今後の分権に向けたスケジュールは。

答 市が提案するのではなく、地域の実情に応じて地域で考えて頂きたい。

ごみ減量化

問 ごみの発生量の推移は。増加傾向にある。

答 ごみ減量化への継続的な働きかけは大変重要だと認識している。ごみの分別強化、食品ロス削減に向け啓発に取り組む。



いずみの会
上坂 月夫

問 自主防災組織の基本的な編成・装備品について。

答 各自治公民館長を隊長とし、情報班・救出班・避難誘導班・給食給水班・初期消火班などの編成となっており、装備品については、発電機・照明灯・トランシーバー・ヘルメットなどの防災資機材を備えています。

問 自主防災組織の活動・訓練状況について。

答 防災組織の活動については、平常時は、防災組織の啓発・資機材の点検整備を災害時は、危険箇所の巡視・情報収集伝達や避難誘導等です。

問 消防分団に必要な装備品の充足状況について。

答 災害対応に必要な装備品は、消防団員の安全確保を図るため、安全靴・安全帽・防火服・夜間ヘッドライト等の装備の充実を図っております。各分団が運用する資機材は車両更新時や年次配備計画に基づき整備します。

問 消防団の即応体制を維持するための環境施策は。

答 本市消防団施設整備計画に基づき年次的に取り組んでまいります。

問 安久町二俣分校跡地のヘリポート整備について。

答 本年度中に実施します。



公明党
大浦 さとる

問 高齢者の健康寿命向上に向けた取り組みについて。

答 介護予防事業で実施しており、市の重点施策の一つとして今後も継続的な取り組みを推進していく。

問 市道の穴ぼこ補修等地域の業者への委託は。

答 現場での即時判断が必要な場合がある為、現段階では難しいと考える。今後としては、民間委託できる範囲と条件やルール等調査研究していく。

問 点字ブロック・エスコートゾーン設置

答 県公安委員会や各道路管理者と協議していく。

問 無料公衆無線LAN環境整備(Wi-Fi)

答 公共施設等と防災の観点から設置は出来ないが、情報収集等の利便性に有効だと思っておりますので、国の補助金等を活用し設置できないか調査研究していきます。

問 議会対応でのペーパーレス化することで経費削減にならないか。

答 タブレット端末の導入についてはセキュリティ対策など解決しなければならぬ課題もあり、今後調査研究していく。



都伸クラブ
江内谷 満義

問 次世代を担う子どもたちの人間力を兼ね備えた人材の育成について。

答 ①小中学生の学力向上対策事業について。
②中学校教員業務支援事業について。
③子どもの貧困対策支援計画策定事業について。

問 教育長 小学校の学習のつまづきの早期発見早期対処により学力の向上を目指していく。小学校3学年、4年生の算数を対象に非常勤講師を配置し、きめ細やかな指導に当たる。中学校においては、教員が生徒と向き合う時間を生み出し、学習内容の特別指導や生徒指導を充実させるため、支援員を充てる。

問 福祉部長 貧困の状況にある子どもや保護者に対して、教育、生活、経済面の支援について必要な施策を講じていく。

問 ④移住・定住の推進策

答 総合政策部長 ふるさと納税の寄付金を活用して、新たな事業に取組む。県外の企業や大学に積極的に呼びかけ、現地での就職説明会を開催。移住の希望者の引越し代金や家賃の一部の補助等を行い、移住・定住者の確保に努めていく。



都伸クラブ
榎木 智幸

問 地場産業センターと道の駅について。

問 拠点施設としての期待。

答 市長 PR成果があり少しずつ知名度が上がってきた。都城志布志道などの整備も進み地の利も良くなってきた。これらをチャンスと捉えて地場産業センターでは製品の需要促進や新商品の開発後継者育成を行い地場産業の支援に取組んでほしい。道の駅はJAFで表彰を受けており、これまで以上の物産の拠点施設になることを期待している。

問 公共施設改修と管理

問 公共施設の今後の方向性について。

答 市長 多くの施設が高度経済成長時に建設され、市民生活の基盤や地域のコミュニティを支えてきた。人口減少や防災など新たな行政サービスへの対応に際しては、財政確保を行い、今後公共施設等総合管理計画に沿って取組んでいく。

問 キャリア教育について

答 講師の選考取り組み。中学校区を一つとする学校運営協議会の仕組みを活用してキャリア教育への取組みが情報共有できるよう工夫改善したい。



進政会
長友 潤治

問 全国和牛能力共進会対策事業について。

答 平成29年度予算において出品奨励金1千563万円を予算計上している。本年4月以降は牛牛競市に全候補牛が上場されない為減額となっている。平成28年度は都城牛繁殖素牛促進事業全共導入予算3千万円を利用し多くの候補牛を保留し13頭に絞り込まれている。2月・3月競で更に数等の追加を見込んでいる。これまでの反省を踏まえ和牛共進会出品対策協議会の立ち上げや全共プロジェクトチームの組織化、特別指導班などの設置など数多く取り組んできており宮崎牛3連覇の一翼を担えるよう宮城全共への出品を目指している。

問 全日本ホルスタイン共進会出品対策事業について。

答 昨年9月に都城地域ホルスタイン改良協議会を中心に行政を含めた関係機関による共進会出品対策協議会を立ち上げ意欲ある酪農家をサポートしている。28年度は優良受精卵購入費一部助成を行ったが国の助成もあつた為差額分を減額補正した。平成29年度予算においてもその分が減額されている。



社民党 筒井紀夫

問 市有財産について、基金の種類について。

答 29の基金を設置、性質上二つの分類される。特定の目的のために積み立てるもの、定額の資金を運用するものです。

問 運用の種類。

答 元本の保全を前提として、定期預金、国債、地方債、政府保証債といった公債で行っている。

問 国債、地方債の運用実績。

答 すこやか福祉基金は国債5件、地方債7件、政府保証債1件、こども基金は国債2件、地方債1件の総計債券運用総額15億6080万円。

問 ふるさと応援基金の使い方。

答 目的指定での寄付金については既存事業に活用。指定がされていない寄付金については、スマイルシティ都城施策に活用、一部を地方創生基金に積み立て将来に活用する。

問 市有地について、住宅用跡地の活用状況。

答 用途廃止後は、土地利用等調整会議に付議して有効活用手段を決定する。

問 貸付地について。

答 有償貸付と無償貸付がある。

問 小・中学生のインフルエンザ予防接種助成。

答 予防接種法に基づいて実施している。子供のインフルエンザの予防接種は接種法にないで予定していない。



公明党 音堅良一

問 平成29年度当初予算の主な事業について。

答 投票率向上対策事業の688万円の積算根拠は、タウンメール約350万円、テールポール約30万円、その他CM費用、公用車による移動期日前投票所約10万円を見込みます。

問 個人番号カード交付事業のカード申請では、都城方式の支援システムを継続されるのか。

答 平成29年度もタブレット端末での支援を継続する。

問 マイナンバーカードの今後の利用拡大は。

答 平成30年から段階的に健康保険証の利用、行政の発行するカード等の一体化、キャッシュ・クレジットカードの利用と拡大する。

問 地場産物「ふるさと給食」提供事業の、食育の推進はどの様にするのか。

答 生産などに関わる地域の方々、調理に関わる方々と一緒に給食を取りながら交流の場を設ける。

問 竹笹サイレージ普及促進事業では農政全般への普及促進はしないのか。

答 土壌改良材の効果も期待。畜産、耕種部門ともに、その効果は未知数である。

問 保育所・幼稚園等むし歯予防事業で、フッ化物洗口を希望した人数は。

答 平成28年度に希望した人数は435人、希望しなかった人数は9人です。



公明党 佐藤紀子

問 つつ、自殺予防対策について、本市に寄せられる相談の現状について。

答 福祉課にて、毎年400件前後の精神保健福祉に関する相談を受けている。内容は、不安の解消や情緒安定に関するものが多い。

問 「こころの体温計」の導入について。

答 現在導入の予定はないが、今後他の自治体の状況等を確認し考える。

問 遺族への支援について。

答 遺族からの相談があった場合は、個別に対応・支援している。

問 ひきこもりの実態を把握されているのか。

答 全体的な実態の把握はできていない。

問 若者サポートステーションの取り組みについて。

答 相談件数及び就職人数ともに増加しており、利用する若者や家族の心の拠り所となっている。

問 胃がんリスク検診について、取り組み方法について。

答 バリウム検査か血液検査どちらかの選択方式。胃がんリスク検診対象者には、個別にはがきでお知らせする予定である。



進政会 川内賢幸

問 台湾トップセールスと今後の観光振興について。

答 「ミートツーリズム推進事業」などをはじめ、台湾も含めた今後のインバウンド対策に反映させつつ、関係機関と連携して、ソフト及びハードを含めたインバウンド力の向上を図ってきたい。

問 観光産業は基幹産業になりうる。より一層の取組を図っていくべき。

答 観光産業は基幹産業になりうる。より一層の取組を図っていくべき。

問 小学校の統廃合についてどう考えているか。

答 新年度に都市中学校規模等適正配置審議会を設置し、現在の都市小中学校適正配置方針の改訂に向けて準備を進めていく予定。統廃合については、保護者や地域住民の願いを受け止めて対応。

問 地域との対話を欠かすことなく慎重な判断を。

答 地域との対話を欠かすことなく慎重な判断を。

問 コミュニティバス等公共交通の充実について。

答 平成29年3月都市地域公共交通網形成計画を策定したところ。地域の皆様とともに、課題解決に向けた取り組みを進めてまいりたい。

問 交通弱者の把握や地域ニーズをしっかりと把握することが重要であり、各地域実情に合わせた取組を進めるべき。

答 交通弱者の把握や地域ニーズをしっかりと把握することが重要であり、各地域実情に合わせた取組を進めるべき。



いずみの会 永田照明

問 屋内競技場内の照明の明るさについて。

答 照明につきましては、屋内競技場の練習に支障がないよう概ね300ルクスが確保されており、今後ご指摘を踏まえ研究して参ります。

問 農業法人・営農組合・認定農家などへGAP（農業生産工程管理）導入による産地化の推進について。

答 本市と致しましては、生産者及び生産団体に対して、GAP制度の認証取得による、販売面での優位性の周知を諮ると共に、品質の向上、均一化及び収穫量の拡大による産地化をより一層図ってまいります。

問 市内の子ども食堂の取り組み状況と市の支援について。

答 一般社団法人らしくサポートが「らしく食堂」を開設し、ひとり親家庭の子どもへの学習支援に合わせ、弁当を提供しております。この活動費への支援につきましましては、国の「子供の未来応援基金」と市の「子ども基金活用事業補助金」を活用しております。更に、各種団体と協力関係を築き貧困対策と連携を講じてまいります。



いずみの会 迫間輝昭

問 中心市街地の民間施設立地支援事業について。

答 今回の再公募ではどのような経過プロセスを経て「株式会社センターシティ」を優先交渉権に選定したのか部長へお伺いします。

問 12月25日に審査委員会を開催し株式会社センターシティを本事業の優先交渉権者に選定した。

答 12月25日に審査委員会を開催し株式会社センターシティを本事業の優先交渉権者に選定した。

問 事業の内容はどのような提案があったのか。

答 地上13階建ての建物を建設し一階はスーパーマーケット2、3階には貸事務所4階から12階にはホテルを整備する計画が提案されておりあります。

問 耕作放棄地の現状と今後の課題について。

答 10年以上放置され雑木雑草等が茂っている状態になっており鳥獣等の棲みかになりこの様な状態の放棄地の整備はどの様に進めていくのか。

問 耕作放棄地整備のため事業として宮崎県耕作放棄地再生利用緊急対策事業があり本事業の内容は再生作業の10アール当たり五万円の定額支援となっております。

答 耕作放棄地整備のため事業として宮崎県耕作放棄地再生利用緊急対策事業があり本事業の内容は再生作業の10アール当たり五万円の定額支援となっております。2万5千円の営農定着の支援が追加されます。

一般質問



黎明史
下山 隆史

在宅医療・介護連携の推進

問 在宅医療・介護連携の課題は？

答 連携のための窓口や担当者がわからないこと、情報交換や連絡体制が不十分なことなど。

問 多職種による研修は？

答 医師会、薬剤師会、看護協会、介護関係者などの合同研修会を開催。

問 医療・介護関係者からの相談やコーディネートなどの役割を担う在宅医療拠点の整備は？

答 医療・介護連携推進センターの設置を平成29年度中に目指す。

がん対策推進条例

問 がん早期発見のためのがん検診の取組みは？

答 無料クーポン券の交付や土・日の検診実施、特定健診とのセット検診など受診率向上に取組んでいる。また、平成29年度から胃がんのリスク検診、集団検診のウェブ予約も新たに取組む。

問 がん教育の取組みは？

答 児童生徒が正しくがんを理解し、健康と命の大切さを考えるよう、推進してまいります。

問 都城市ががん対策推進条例の考えは？

答 宮崎県の条例や他市の条例を参考にしながら研究していきたい。



社民党
福島 勝郎

問 水道局での職員派遣の経緯と人員派遣の状況、公用車の使用、ナビ搭載の有・無、円滑な支援体制、把握している問題点について。

答 日本水道協会九州支部からの要請に基づき4月15日から6月1日までの48日間、緊急給水活動を実施。給水車、指揮車、物資搬送車計3台を使用し、指揮車にナビを搭載し派遣先の自治体及び職員と連絡を密にし、現地の状況を把握に努め、バックアップ体制の充実に努めた。災害派遣は屋外での活動のためヘルメット・雨具・雨靴などを携行し夜間は反射ベストなどの装備をしました。問題点は地震直後休憩する時間も困難でしたが普及が進むにつれて作業は改善されました。

問 保育園・幼稚園でのフツ化物洗口の法的根拠について。

答 「歯科口腔保健の推進に関する法律」第10条「国及び地方公共団体は、個別的に又は公衆衛生の見地から行う歯科疾患の効果的な予防のための措置に関する施策を講ずるものとする」とのことから虫歯予防対策として集団洗口を実施しています。



翔陽クラブ
榎田 勉

問 市長の子育て支援のビジョンは？

答 結婚から妊娠・出産、育児まで切れ目なく支援し安心して子どもを産み育てることができると環境づくりをして行く。

問 ふるさと納税活用策は？

答 最も寄附者から使い道指定が多いのは子ども支援で、新年度は就学前まで医療費を無料にする拡充策を講じた。

問 小・中学校給食無償化の導入予定はないか？

答 教育委員会では、未納のある世帯には、納入相談はするが、無償化の検討はしていない。

問 市長「検討していない」滋賀県長浜市の無償化は市長の「鶴の一声」で始まったことを新聞報道で紹介した。

問 都城夜間急病センターの不足額の負担は？

答 協定書を結んだ都城市三股町・曾於市・志布志市で総額約3億4千万円を患者数に応じて負担している。

問 西諸地域の負担と今後の交渉はどうするのか？

答 小林市・えびの市・高原町の患者数は632人。予想負担額は約1400万円。今後も負担できるよう継続して交渉する。



都城再生クラブ
神脇 清照

問 空き家対策について。

答 これまでの調査で3007件の空き家等候補地を抽出し、データベース化を行っており、又、今後も移住・定住の促進、住宅ローン利子補給制度補助金等の利用で空き活用を図ってまいります。

問 住宅建築物耐震事業について。

答 耐震診断士が、住宅の耐震化に関する相談を無料で行う木造住宅耐震診断アドバイザー派遣制度と、耐震改修工事を行うための補強設計業務費用の一部を補助する制度を開始しております。

問 市営住宅指定管理制度について。

答 民間事業者のノウハウを活用することにより、緊急修繕等、きめ細やかな質の高いサービス提供や経費削減等の効果が期待でき、平成30年度からの指定管理制度導入に向けての準備を進めている。

問 郡元都北通線計画道路について。

答 鷹尾上長飯通線や郡元東南地区緊急整備事業など現在実施している事業もあり、事業実施にあたっては他の事業の進捗状況や本市全体の要望箇所を含め、整備効果など総合的に判断することとしています。



日本共産党
畑中 ゆう子

問 核兵器廃絶を求める「非核平和都市宣言」について。

答 合併前、昭和60年3月合併後、平成20年3月に都市議会は平和都市宣言をあげている。

問 高齢になられた被爆者の方々の実態把握と被爆体験を記録に残すべき。

答 市内に被爆者51名。平均年齢83・22歳。市での体験記録はない。

問 「被爆者国際署名」について、市長の見解を。

答 被爆者の方々と思いは同じ、平和行政に努める。

問 放課後児童クラブの費用負担と利用状況は？

答 月額利用料4千円とおやつ代等2千円。新制度になって、4年生から6年生までの利用が、2年間で2倍に増えている。

問 新年度の保育所入所状況。待機児童の年齢層、保育士確保状況は？

答 現在51名利用調整中。1歳児が28名決まっています。保育士復職研修を4回実施して11名復帰。

問 生活困窮者支援窓口は、困っている市民に各課で連携した対応が必要。本庁内に設置すべき。

答 庁内17課、庁外4機関で連携して対応している。支障なく機能している。



都伸クラブ
黒木 優一

問 今年に入り火災が増加しているようだがその状況について。

答 2月末で昨年同期より10件増加している。焚火による出火が多く消防団と協力して火災予防の広報に取り組む。

問 新年度の予算案ではこれまでより消防団施設等の予算が削減されているようだが今後の整備方針はどうなるのか？

答 本年度に策定した消防団施設等整備計画に基づき実施していく。

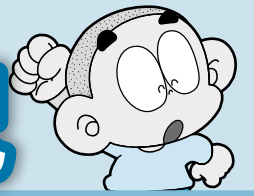
問 県内では近年、死亡事故が減少しているが、本市では死亡事故が増加している。その原因と防止策について。

答 原因は脇見動静不注意が多い。街頭指導、交通安全教室の開催、キャンペーン及び高齢者交通安全モデル公民館の指定等を行い交通安全意識の向上を図る。

問 本市の国土調査状況について。

答 進捗率は約82%で西岳地区と中郷地区が残っており、西岳地区で12年程掛る。その後、中郷地区を調査する。

常任委員会の審査状況



総務委員会

○主な審査概要

◆平成29年度

◎都市一般会計予算

◎総合政策部

主な新規事業として移住・定住インターンシップ等推進事業費、移住・定住人材確保コーディネート事業費、転職応援補助金、東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業費などを審査しました。

◎総務部

文書管理事務費庁舎等維持管理費、社会保障・税番号制度システム管理事業費、後方支援拠点都市推進事業費、消防団運営費及び防災基盤整備事業費などを審査しました。

◎市民生活部

行政事務連絡経費、市民公益活動推進事業費、まちづくり協議会推進事業費、国際交流員事業費、地域安全対策事業費、総合文化ホール管理運営事業費、民俗芸能保存・伝承事業費、戸籍住民基本台帳費、コンビニ交付サービス事業費及び市税の徴収に要する経費などを審査しました。

◎選挙管理委員会事務局

平成30年2月4日任期満了に伴う市議会議員選

挙費、移動期日前投票所の導入や、ケーブルテレビ・シティFMによる周知啓発など、市議会議員選挙において、有権者の意識の向上を図り、投票率向上を目指す投票率向上対策事業費などを審査しました。

◎消防局

常備消防事務費、常備消防施設管理費、北消防署移転建設事業費などを審査しました。

●討論について

【反対討論】

「リスクを含んでいるマイナンバー制度関連の予算が多く計上されている。」との反対討論あり。

●審査の結果

賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

◆審査請求に関する諮問

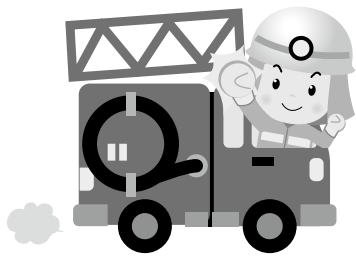
●について

一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に対し審査請求があり、この審査請求を棄却することについて諮問されました。

●討論について

【反対討論】

一審査請求人は懲戒免職処分については受け入



れており、他の自治体と比較しても厳しすぎる。」

「退職手当を全部不支給とする処分の基準が不明確」との反対討論あり。

【賛成討論】

「審査請求人が行った行為そのものが許されない法律違反行為」「長年、飲酒運転撲滅運動に取り組んできている中で、の重大な法令違反。」との賛成討論あり。

●審査の結果

賛成多数で諮問に同意すべきものと決定しました。

文教厚生委員会

○主な審査概要

◆平成29年度

◎都市一般会計予算

◎福祉部

乳幼児医療費助成事業費、放課後児童クラブ設置推進事業費が計上され審査しました。

◎健康部

胃がんリスク検診、ドクターヘリ運航経費負担金等の救急医療対策総務費等が計上され審査しました。

◎教育委員会

小学校学力向上対策事業費、小中一貫学力向上研究指定事業費等が計上され審査しました。

◆平成29年度

◎都市国民健康保険特別会計予算

◆平成29年度

◎都市後期高齢者医療特別会計予算

◆平成29年度

◎都市介護保険特別会計予算

●討論について

【反対討論】

一般会計予算に關して、国民健康保険税や介護保険料などの引き下げのために予算をもっと使うべきである。国民健康保険特別会計予算に關して、基金を使って国保税

を引き下げるべき。後期高齢者医療特別会計予算に關して、年金生活者の暮らしが大変苦しくなっており、引き下げるべき。介護保険特別会計予算に關して、地域密着型の介護支援の充実をはかるべきである。

●審査の結果

賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆条例の制定について

「都市乳幼児医療費の助成に關する条例の一部を改正する条例の制定について」、「都市家庭的保育事業等の設備及び運営に關する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」、「都市行政手続に關する特定の個人を識別するための番号の利用に關する条例の一部を改正する条例の制定について」等、9議案について審査しました。

●討論について

【反対討論】

乳幼児医療費の助成に關する条例は、自己負担が無料になったことは評価するが、小学生まで広げるべき。家庭的保育事業に關する条例は、4階以上の階から乳幼児を避

難させることは困難であると判断する。特定の個人を識別するための条例は、個人情報保護のためセキユリティ対策が不十分である。

【賛成討論】

乳幼児医療費は自己負担分の無料化ということで賛成する。

●審査の結果

賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆障害者自立支援法に規定する介護給付費等の支給に關する審査判定事務の委託に關する規約変更に關する三股町との協議について審査しました。

●審査の結果

全会一致で可決すべきものと決定しました。



常任委員会とは

予算や条例等の審査を行う際、効率かつ詳細に審議出来るよう、担当部局ごとに分けて審査を行う委員会の事です。

建設委員会

○主な審査概要

◆平成29年度

◎都市一般会計予算

◎土木部

市道の路面及び側溝の整備など、道路の維持補修に要する経費、都城志布志道路の整備に伴う山野原街区公園の移設整備に要する経費、早水公園にサブアリーナや武道場などを整備するための事業費、また、街区三股線、鷹尾上長飯通線、甲斐元通線の歌舞伎橋及び鷹尾都原線等の基幹道路の整備費について主に審査しました。

◆都市簡易水道事業

特別会計予算

簡易水道事業債の元利償還金及び人件費の他、簡易水道施設の管理に要する経費、配水管整備事業、水源開発事業、浄水場等整備事業に要する経費等について審査しました。

◆都市電気事業

特別会計予算

電気事業債の元利償還金及び人件費の他、老朽化した駒発電所の施設整備事業に要する経費等について審査しました。

◆都市水道事業

会計予算

水道企業債の元利償還金及び人件費の他、浄水場関連施設、配水に係る設備及び給水装置等の設備の維持管理に要する経費、浄水場関連施設及び配水管網の整備事業費等について審査しました。

◆都市公共下水道事業

会計予算

下水道事業債の元利償還金及び人件費の他、中央終末処理場、清流館、各浄化センター及びポンプ場施設の維持管理費等について審査しました。

●審査の結果

いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

した。



◆条例の制定について

「都市市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」は、延べ床面積2000平方メートル以上の大規模非住宅建築物の建築物エネルギー消費性能適合性判定の審査及び完了検査等に係る手数料等を加えるため、所要の改正を行うもので、「都市市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について」は、高城町にある第2軍神原団地で発生した火災により、その一部を取り壊し、用途廃止をするため、所要の改正を行うものです。それぞれ2議案について審査しました。

●審査の結果

いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業経済委員会

○主な審査概要

◆平成29年度

◎都市一般会計予算

◎環境森林部

地下水保全対策事業費、浄化槽設置費、斎場管理費、指定ごみ袋事業費、有害鳥獣捕獲活動支援事業費、再造林推進事業費、ごみ収集運搬費、大岩田最終処分場埋立地有効活用事業費、クリーンセンター管理費等を主に審査しました。

◎農政部

農業後継者等支援事業費、地場産物ふるさと給食提供事業費、水田フル活用支援事業費、県営畑地帯総合整備事業費、畜産奨励対策事業費、多面的機能支払交付金事業費等を主に審査しました。

◎商工観光部

山之口総合交流活性化センター管理費、観音池公園施設管理運営費、高崎総合公園施設運営費、中心市街地中核施設整備支援事業費、中心市街地再生プラン事業費、買い物困難者支援事業費、地域経済応援ポイント活用事業費等を主に審査しました。

◎農業委員会

耕作放棄地農地造成事業費、農業委員会事務局

費等を審査しました。

◆特別会計について

食肉センター特別会計予算、公設地方卸売市場事業特別会計予算、整備墓地特別会計予算、工業用地造成事業特別会計予算、農業集落排水事業会計予算が計上され審査しました。

●審査の結果

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

●意見・要望

中心市街地中核施設整備支援事業及び中心市街地再生プラン事業については、まちなかを活性化するには、あたって、中核施設整備と再生プランとの相乗効果を図りながら、事業の成果を十分発揮できるように、官民一体と成った取り組みを推進し、事業の計画概要・経過について、市民並びに関連企業等へ丁寧に周知を行うこと。

買い物困難者支援事業については、利用者が少ない地域もあるので、コースの変更・販売品目の見直し等を行いながら事業運営の安定化を図り、買い物困難者を適切に支援するため、今後も積極的に取り組むこと。

上長飯霊地公園の貸し出し区画の改善について

は、これまでも要望しているが、現在約15%の貸し出しのため、今後も公営墓地の在り方や貸し出し方法について有効な対策を講じることを要望しました。

◆条例の制定について

「都市市農業伝承の家条例の一部を改正する条例の制定について」及び「都市市中心市街地中核施設条例の制定について」の2議案について審査しました。

●審査の結果

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆財産の無償貸付け及び減額貸付けについて

官民協働で都市機能の集約化を促進し、中心市街地活性化を図るため旧大丸跡地等の敷地を株式会社センターシティに土地の無償貸付け及び減額貸付けを行うことについて議会の議決を求めるものについて審査しました。

●審査の結果

全会一致で可決すべきものと決定しました。

今回上程されたもの 議案48件、委員会提出議案1件、議員提出議案2件、諮問2件

《上程された主な議案について》

- 議案第1号 平成28年度都城市一般会計補正予算
 - 議案第13号 平成29年度都城市一般会計予算
 - 議案第14号 平成29年度都城市食肉センター特別会計予算
 - 議案第15号 平成29年度都城市国民健康保険特別会計予算
 - 議案第19号 平成29年度都城市工業用地造成事業特別会計予算
 - 議案第24号 平成29年度都城市水道事業会計予算
 - 議案第28号 都城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び都城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第31号 都城市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第38号 都城市大島畠田遺跡歴史公園条例の制定について
 - 議案第42号 都城市中心市街地中核施設条例の制定について
- ※他 38議案(合計48議案/可決46件、同意2件)

《議員提出議案について》

- 議員提出議案01号 森林吸収源対策の財源確保を求める意見書案
- 議員提出議案02号 無料公衆無線LAN環境の整備促進を求める意見書案 →いずれも可決

《諮問について》

- 諮問1 人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
- 諮問2 審査請求に関する諮問について →いずれも同意

平成29年3月定例議会の表決結果

議案48件 委員会提出議案1件 議員提出議案2件 諮問2件中賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

○：賛成した議員 ●：反対した議員 棄権：採決に参加しなかった議員 欠：欠席

議案番号	第13号	第15号	第16号	第20号	第30号	第36号	第37号	第43号	諮問第2号
市長提出議案	平成29年度 都城市一般会計 予算	平成29年度 都城市国民健康保 険特別会計予算	平成29年度 都城市後期高齢 者医療特別会計 予算	平成29年度 都城市介護保険 特別会計予算	都城市乳幼児医 療費の助成に関 する条例の一部 を改正する条例 の制定について	都城市家庭的保 育事業等の設備 及び運営に関す る基準を定める 条例の一部を改 正する条例の制 定について	都城市行政手続 における特定の 個人を識別する ための番号の利 用に関する条例 の一部を改正す る条例の制定に ついて	財産の無償貸付 け及び減額貸付 けについて	審査請求に関す る諮問について
相 葉 一 夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江内谷 満 義	○	○	○	○	○	○	○	○	○
榎 木 智 幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大 浦 さとる	○	○	○	○	○	○	○	○	○
音 堅 良 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上 坂 月 夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神 脇 清 照	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
川 内 賢 幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○
蔵 屋 保	○	○	○	○	○	○	○	○	○
黒 木 優 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小 玉 忠 宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○
児 玉 優 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
坂 元 良 之	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠
迫 間 輝 昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐 藤 紀 子	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下 山 隆 史	○	○	○	○	○	○	○	○	○
杉 村 義 秀	○	○	○	○	○	○	○	○	○
竹之下 一 美	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒 井 紀 夫	○	○	○	○	○	○	○	○	●
徳 留 八 郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永 田 浩 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中 田 悟	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永 田 照 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長 友 潤 治	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永 山 透	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権
西 川 洋 史	○	○	○	○	○	○	○	○	○
榆 田 勉	○	○	○	○	○	○	○	○	○
畑 中 ゆう子	●	●	●	●	●	●	●	●	○
広 瀬 功 三	○	○	○	○	○	○	○	○	●
福 島 勝 郎	○	○	○	○	○	○	○	○	●
三 角 光 洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森 り え	●	●	●	●	●	●	●	●	○
荒 神									議長職のため表決に参加しない
議決結果	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	可 決	同 意

市議会だより No.12 (平成29年2月15日発行) に寄せられたご意見について

市議会へのご意見について

●他の自治体でこのような議会だよりを発行されているのでしょうか。

県内市議会、全国の市議会等でも発行されています。

●議会だよりの発行について

議会だよりを非常に興味深く読んでいる。二色刷りの印刷で読みやすい。

行政に対するご意見について

●ふるさと納税の使われ方について

ふるさと納税については、今回の議会だよりに掲載しておりますので、ご覧下さい。

(担当課 総合政策課 ☎23-2115)

●マイナンバーカードの使用について

コンビニエンスストアでのマイナンバーカードの使用は、基本的に、ご本人以外は使用できません。ご不明なことがございましたら、担当課にご連絡下さい。

(担当課 市民課 ☎23-2128)

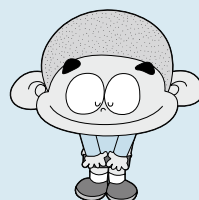
●スポーツ推進委員の選出について

スポーツ推進委員は、各地区体育協会等からの推薦や選考を経て、選出されます。任期は、2年で1期、定年制は設けていないそうです。

(担当課 スポーツ振興課 ☎23-9546)

●その他

都城市の歴史、介護問題やいじめ問題等についてもご意見をいただきました。

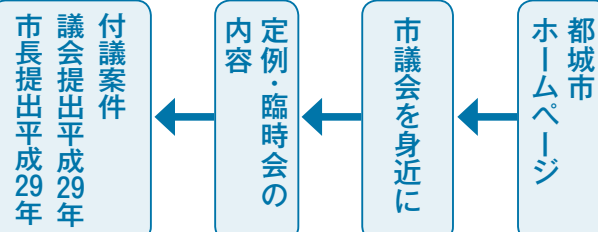


皆様からいただいた市議会に対するご意見につきましては、今後も政策立案、政策提言等に活かしてまいります。

市議会に対するご意見をお聞かせください

◀点線に沿ってお切りください。

議案、請願、意見書の内容については、都城市のホームページからご覧になれます。



議会情報はホームページやフェイスブックから！

都城市議会では、ホームページやフェイスブックで議会情報を発信しています。ホームページやフェイスブックページのアドレスは下記の通りですが、インターネットで、「都城市議会」「都城市議会ホームページ」「都城市議会フェイスブック」などで検索していただいても見つかります。また、本会議開催中は、BTVケーブルテレビの121chで、生中継及び録画放送も行っていますので、ぜひ、ご覧ください。

ホームページ

<http://cms.city.miyakonojo.miyazaki.jp/display.php?list=147>
議会の概要や構成、議員名簿、議案、審議情報、政務活動費の執行状況、請願・陳情の提出方法、傍聴などについて詳しく掲載しています。



フェイスブック

<https://www.facebook.com/miyakonojocity.gikai>
市議会からのお知らせ、市議会の開催内容や活動状況など、市議会に関する情報について、ホームページと連携して積極的に発信していきます。



※ QRコードをスマートフォンのアプリで読み込むと各ページが開きます。

議会傍聴のご案内

みなさんによって選ばれた議員の活動や市政の方針などを実際に見て、聞いてみませんか？

市議会は、3月、6月、9月、12月の定例議会や臨時議会で、市民の皆様の生活に関係の深い議案や請願などを審議します。

傍聴席は、市役所6階にあり、どなたでも手続き不要で入場できますので、ぜひ傍聴においでください。また社会見学や団体研修の場としても幅広くご利用ください。

平成29年6月 定例会開催予定



傍聴席のようす

6月 9日	開会、本会議
16日	一般質問
19日	一般質問
20日	一般質問
21日	一般質問
22日	一般質問
23日	委員会審査
26日	委員会審査
28日	本会議、閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。

中心市街地中核施設の概要

新たな機能を有する施設をまちなかにつくり、多世代が交流できる市民活動を応援することを目的とする事業です。

供用開始は平成30年度以降です。

- 都城市立図書館本館
蔵書数55万冊、開架スペースは現在の4.2倍に拡大しカフェを設置します。
- 都城市未来創造ステーション
図書館内に会議室、多目的室を設置します。
- 都城市まちなか広場
イベント等の開催、市民の交流活動の拠点です。
- 都城市保健センター
乳幼児健診等を実施します。
- 都城市子育て世代活動支援センター
児童の一時預かり事業を実施します。
- 都城市中央バス待合所
多目的トイレ、情報案内コーナー等を設置します。
- 都城市中心市街地中核施設附帯駐車場
規則で定める時間内の使用料は無料です。

編集後記

市議会だよりの発行も4年目がスタートしました。スポーツ界では高校野球の女子マネージャーが甲子園練習に参加できるようになり、注目されましたが、平成29年度の都城市役所人事でも、新たに3名の女性が部長級に昇任されました。

広報広聴委員会は今年度も、編集委員に3名の女性議員がたずさわっており、年4回の「市議会だより」の発行と8月には「議会報告会」の開催を行ってまいります。議会をより身近に感じて頂き、喜んで頂ける紙面を目指して努力してまいります。

なお、市議会だよりの発行は、2月、5月、8月、11月の15日となっています。



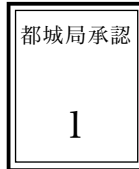
編集委員

上坂月夫
川内賢幸
下山隆史
永山透
佐藤紀子
福島勝郎
森りえ
畑中ゆう子

POST CARD

料金受取人払郵便

8 8 5 - 8 7 9 0



差出有効期間
平成30年4月
30日まで

(切手不要)

都城市姫城町6街区21号

都城市役所 議会事務局 行



▶点線に沿ってお切りください。

お問い合わせ

都城市議会

都城市ホームページ

〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号
TEL(0986) 23-7869 FAX(0986) 25-7879
E-mail: gikai@city.miyakonojo.miyazaki.jp

http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp